

## 主要事業について

<b>定住サポート</b>	<b>3,792万円</b>
新婚さん定住促進奨励	255万円
移住促進事業	199万円
路線バスの維持補助	3,338万円
<b>育児サポート</b>	<b>1億8,048万円</b>
出生祝い金	1,300万円
子ども医療費助成	3,837万円
児童手当	1億2,911万円
<b>有害鳥獣対策</b>	<b>504万円</b>
有害鳥獣の駆除	343万円
防護柵設置	161万円
<b>交通安全対策</b>	<b>1億4,536万円</b>
ガードレール・カーブミラーの設置	552万円
町道の維持管理と補修	2,092万円
町道改良	1億1,892万円
<b>道路整備</b>	<b>2億8,673万円</b>
江田高野線	1億1,064万円
内田吹野線	4,068万円
西光寺中林線	1億1,574万円
防火水槽の設置や修繕	1,967万円
<b>ごみの処理費</b>	<b>2億964万円</b>
家庭ごみの処理費	2,794万円
共同ごみ処理施設運営負担金	1億8,170万円
<b>観光施設の維持管理</b>	<b>1,927万円</b>
口マン館	408万円
三加和温泉	482万円
民家村	812万円
きくすい道の駅	225万円
<b>観光イベント</b>	<b>1,773万円</b>
古墳祭	550万円
国衆まつり	450万円
山太郎祭	237万円
大河ドラマいだてん活用した和水町のPR事業	536万円
<b>国民健康保険事業</b>	
特定健診と保健指導	1,561万円
<b>介護保険事業</b>	
在宅サービス	4億5,004万円
(要介護者685人。延べ131,429人が利用)	
グループホーム等の介護施設サービス	1億471万円
老人保健施設等の介護施設サービス	5億4,082万円

## 財政を見る3つのポイント

### i 財政力指数 0.23 (昨年比±0)

予算のうち、どれ位を自前の税金などで賄えているかを表します。この数値が高いほど財政力が強いことを示します。

### ii 経常収支比率 87.9% (昨年比▽2.5)

人件費、維持補修費、補助金、公債費（借入金返済）などの固定費の割合。この数値が低いほど政策的な事業に使えるお金が多くなります。

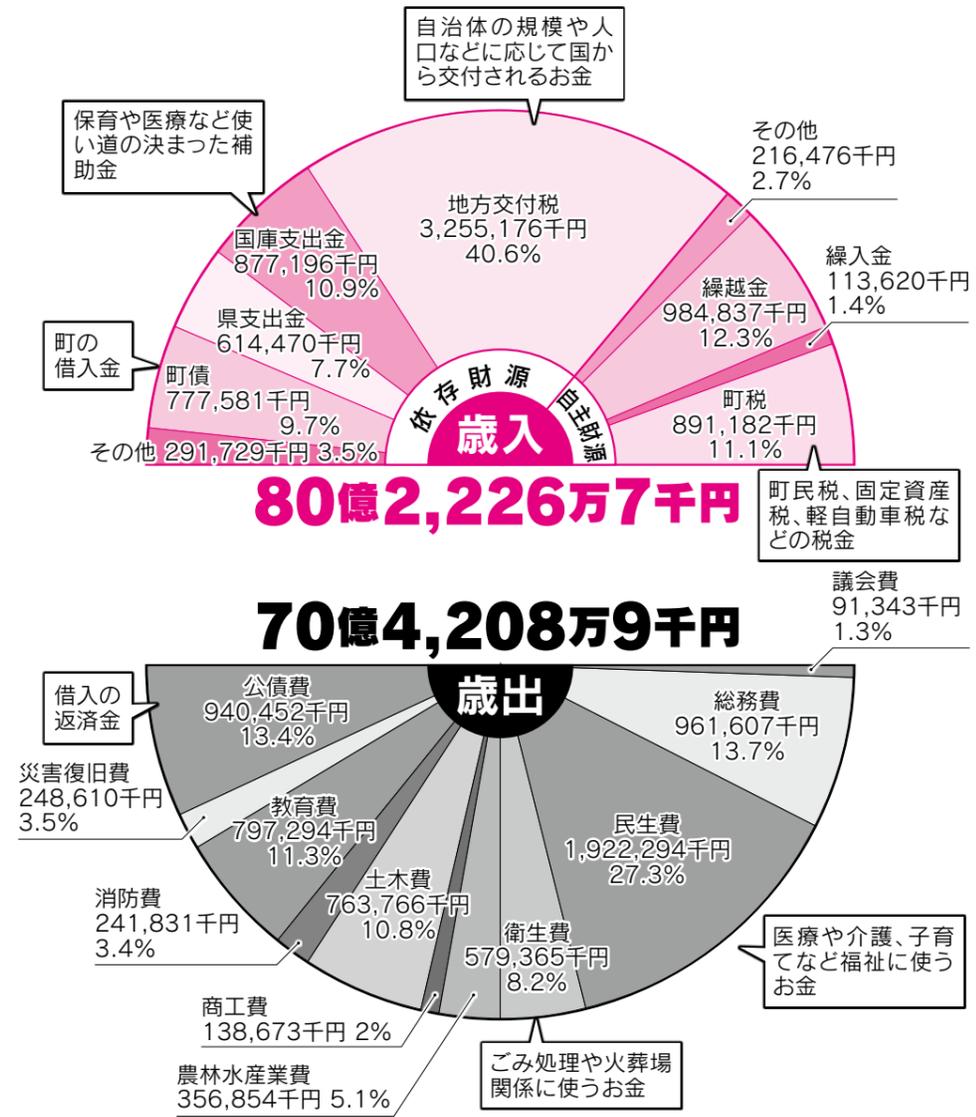
### iii 実質公債費比率 7.9% (昨年比▼0.8)

一般会計が負担する公債費（借入金返済）の割合。この数値が高いほど他の事業に充てる財源が圧迫されることになります。この数値が18%に達すると起債（借金）は、国の許可制となります。

	財政力指数	経常収支比率 (%)	実質公債費比率 (%)
H29年度			
和水町	0.23	87.9	7.9
玉東町	0.29	92.9	5.0
南関町	0.38	93.3	8.0
長洲町	0.54	94.9	10.7

玉名郡内の町と比較すると、和水町は財政力指数は低い（自主財源が少ない）ものの、経常収支比率は良好な（固定費の支出が少ない）傾向にあります。

## 決算の内訳



## 平成29年度各会計歳入歳出決算額

	収入済額	支出済額	差引残高		
一般会計	80億2,226万7千円	70億4,208万9千円	9億8,017万8千円		
特別会計	国民健康保険事業会計	16億8,997万8千円	16億4,146万1千円	4,851万7千円	
	介護保険事業会計	16億5,119万5千円	14億1,071万2千円	2億4,048万3千円	
	特別養護老人ホーム事業会計	5億1,674万5千円	4億8,198万円	3,476万5千円	
	簡易水道事業会計	9,513万9千円	8,596万2千円	917万7千円	
	下水道事業会計	8,597万3千円	8,161万7千円	435万6千円	
	特定地域生活排水処理事業会計	9,745万9千円	9,728万8千円	17万1千円	
	春富財産区特別会計	106万8千円	11万9千円	94万9千円	
	後期高齢者医療事業会計	1億5,477万円	1億5,115万4千円	361万6千円	
	計	123億1459万4千円	109億9,238万2千円	13億2,221万2千円	
業公営企 会計 計	病院事業会計（収益的収支）	8億4,538万7千円	8億7,337万4千円	△2,798万7千円	
	病院事業会計（資本的収支）	歳入	7,287万3千円		
		歳出		1億104万6千円	△2817万3千円

※金額は端数処理をしているため、合計が合わない場合があります。

## 平成29年度 一般会計決算

わたしたちの税金は  
どう活かされたか

# 9月議会議案審議

## 採決結果

条 例： 1件  
 補 正 予 算： 7件  
 人 事： 1件  
 そ の 他： 2件  
 決 算： 10件  
 計 21件

### 町長提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
議案第51号	条例	和水町金栗四三生家記念館の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決
議案第52号	補正予算	平成30年度 和水町一般会計補正予算（第5号）	〃
議案第53号	補正予算	平成30年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第54号	補正予算	平成30年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第55号	補正予算	平成30年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第56号	補正予算	平成30年度 和水町下水道事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第57号	補正予算	平成30年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第58号	補正予算	平成30年度 和水町病院事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第59号	その他	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	〃
議案第60号	その他	工事請負契約の締結について	〃
認定第1号	決算	平成29年度 和水町一般会計歳入歳出決算	原案認定
認定第2号	決算	平成29年度 和水町国民健康保険事業会計歳入歳出決算	〃
認定第3号	決算	平成29年度 和水町介護保険事業会計歳入歳出決算	〃
認定第4号	決算	平成29年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計歳入歳出決算	〃
認定第5号	決算	平成29年度 和水町簡易水道事業会計歳入歳出決算	〃
認定第6号	決算	平成29年度 和水町下水道事業会計歳入歳出決算	〃
認定第7号	決算	平成29年度 和水町特定地域生活排水処理事業会計歳入歳出決算	〃
認定第8号	決算	平成29年度 和水町春富財産区特別会計歳入歳出決算	〃
認定第9号	決算	平成29年度 和水町後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算	〃
認定第10号	決算	平成29年度 和水町病院事業会計決算	〃
同意第20号	人事	和水町副町長の選任について	原案同意

## 平成30年度 一般会計補正予算

平成30年  
9月

定例議会  
報告

### 3億9,291万6千円を追加!!

# 総額 85億4,584万2千円に増額

平成30年第3回定例会が、9月7日から14日までの会期で開かれ、7日、10日に行われた一般質問には7名の議員が登壇し、活発な議論が交わされた。

今回、平成29年度の決算審査は議会の各常任委員会で行われた。

#### ○平成30年度9月補正主要事業

- 1、学童保育施設建築に伴う設計業務委託料…………… 950万円
- 2、大河ドラマ「いだてん」和水町推進協議会負担金…………… 6,812万円
- 3、農地等災害復旧費（田4件、農道2件、水路4件）…………… 5,500万円
- 4、公共土木施設災害復旧費（道路9件、河川13件）…………… 1億8,640万円

## 一般会計・特別会計補正予算

会 計 名	追加額	歳入歳出予算総額
国民健康保険事業会計	6万2千円	14億6,256万7千円
介護保険事業会計	82万7千円	15億2,185万5千円
特別養護老人ホーム事業会計	84万円	4億9,968万7千円
下水道事業会計	27万1千円	6,520万8千円
後期高齢者医療事業会計	5万円	1億6,272万3千円
病院事業会計（収益的のみ）	898万円	8億8,132万7千円

## 町政の発展に貢献 ～ 6名の方を表彰 ～



10月2日（火）、長年町議会議員として、町政の発展や地域振興に尽くされた6名の方の功績をたたえ、町から表彰が行われました。（荒木政士さん、笹淵賢吾さんは都合により欠席でした）

### 杉本 和彰さん

議会人として、各委員長・議長などとして町政の枢機に参画できましたことは、無上の喜びであります。これらの要職を任せられましたことは、感謝と喜びに耐えません。そして、充実した議員活動を送れましたのは、皆様のご支援ご鞭撻があったることと、衷心より御礼申し上げます、今後の町発展を祈念し御礼といたします。

### 荒木 拓馬さん

私は、旧三加和町の時代に2期、合併してから3期、19年余りの議員生活を過ごさせていただきました。旧三加和町の時は、肥後元気村の件、和水町になってからは菊水地区の学校統合問題があり、どうしても議会で大もめした事案がしばしば思い出すところがあります。政争の様相が強くなると町の発展にプラスになることは少ないように感じます。今後、町長、職員、議員諸氏の奮闘に期待し、御礼の言葉といたします。

### 笹淵 賢吾さん

一番の思い出は、菊水地区小中学校建設問題で、言葉使いが荒い議会が続き全国的に少ない住民投票が実施され、町民が町政を前進させる歴史を作ったことだ。今回、表彰状は有り難く頂戴するが、記念品については辞退する。議員は町民の暮らし、福祉を守るため活動し報酬も頂いている。今後、記念品贈呈はやめて税金をもっと町民のために使って頂きたい。

### 杉村 幸敏さん

この度、長年の議員生活に対し、町より表彰をいただき心より感謝いたします。この賞は私に対してではなく、長年に渡りご支援をいただいた町民の皆様の代表としていただいた賞だと自負しております。これからは、一町民として町の支えになればと思っております。結びになりますが、和水町のますますのご発展と町民の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたしております。

### 小山 暁さん

この度は、表彰の栄に浴し感謝に堪えません。合併以来今日まで、3期12年住民の代表として、必死の思いで議会活動に専念してきました。その間、学校統廃合問題をはじめ、議会基本条例の制定や議員政治倫理の条例改正、更には議会報告会の開催等町民の皆さんに信頼される議会を築くことを目的に活動してきましたが、これも一重に町民の皆様のご温かいご支援のおかげであり、厚く御礼申し上げます。

長い間、たいへんお世話になりました。

### 荒木 政士さん

このたびの功労者表彰につきましては、身に余る光栄であり厚く御礼申し上げます。

合併と同時に、地域住民の皆様より議会に送り出していただき、3期12年の議会活動の中で、いろんな経験をさせていただき、今思うことは、学校統廃合に翻弄された議員活動であったのかと反省もあります。

今、和水町は、明るいニュースもあります。今後の町の活性化、発展を心よりお祈り申し上げます。

## 議員提出議案一覧

議案番号	区分	議案名	審議採決の結果
	その他	閉会中の継続審査について	原案決定
	その他	閉会中の継続調査について（各委員会）	〃
	その他	議員派遣について	〃

## 陳情等の審査結果

受付番号	受付年月日	件名	審査結果	付託委員会
196	平成30年8月27日	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書		配付
204	平成30年8月30日	国宝江田船山古墳出土品の里帰り展実現に関する陳情書	継続審査	総務文教 常任委員会
216	平成30年9月6日	和水町の防犯対策等における町有街路灯の設置について（要望）	継続審査	総務文教 常任委員会
218	平成30年9月6日	街路灯の設置について（要望）	継続審査	総務文教 常任委員会

## 金栗四三生家記念館の設置条例

### ～金栗翁が幼少期を過ごした生家を公開するための条例～

大河ドラマ「いだてん」の放送に合わせて、金栗四三生家記念館の設置及び管理に関する条例です。

#### 条例の概要

①公開期間は、平成31年1月から12月までの1年間

②観覧料

区分	和水町民	町外個人	団体 (20人以上)
高校生以上	200円	300円	200円
小・中学生	100円	200円	100円

③観覧時間 午前9時から午後5時

### ■人／事／案／件■

9月定例会において、副町長の選任について上程され、次のとおり同意されました。

○副町長

松尾 栄喜さん（和水町板楠）



松尾副町長には、長年の県職員時代に培われた経験と知識を活かし、高巣町長を支えながら、和水町発展のために十分に力を発揮していただきますようご期待をしております。

（議長 蒲池恭一）

# 公共施設の適正配置と

## あり方についての視察研修

総務文教常任委員長 池田 龍之介

7月26日、27日の2日間の日程で、大分県速見郡日出町、(株)地域科学研究所、福岡県八女市の3カ所を、視察研



地域科学研究所

修を行った。まず、日出町では、日出町図書館を官と民がパートナーを組んで事業を行う民設公営を導入し、商業施設との複合化を図り運用している事例の研修を行った。ショッピングセンターの2階部分を、リース会社と20年の賃貸契約を結び、商業施設の一部として図書館を設置したこと、利用者や本の貸出数は伸びており、住民福祉の面からみれば一定の効果はみられるものの、図書館をはじめ公共部分の管理・運営に係る、日出町が支払う年間総費用は、1億3343万と高額であり、財政面から考えると、特に公共

施設等の総合管理面では、決して本事業が効果を上げているとは思えない。今後、和水町においても公共施設の在り方について検討を重ねるうえで、費用対効果を中心として、施設の複合化による建設、統合及び除去等の判断を行っていかねばならないと感じた研修であった。次に、大分市内へ移動し、(株)地域科学研究所で、公共施設等個別計画並びに地方公会計制度の勉強会を行った。和水町の財務に関するデータを基本に、全国21の類似団体の中で、住民一人あたりの純資産額や負債額等について、和水町がどの位置にあるかがグラフ化し、確認することができた。このように財務書類を全国共通基準により数値化し、比較することで各自自治体が置かれている位置を明確にすることも、新地方公会計の目指すところでもある。

2日目は、福岡県八女市のグリーンピア八女にある東部スポーツ公園のサッカー場の視察を行った。サッカー場の建設にあたっては、スポーツ合宿を誘致し地域の経済効果を上げることが目的としたもので、国際基準の芝のサッカー場二面が整備されていた。サッカー場の運営自体は赤字であるが、周辺施設にお金が落ちる仕組みを作っており、総体的には黒字経営ということだった。

また、今回の視察予定には入っていなかったが、「大洲小学校跡地利用」において、交流宿泊施設「おおぶち」の案内をしていただいた。

交流施設「おおぶち」は、地域住民が主体となり、サッカーの合宿所の役割、イベントや食事提供などを担い、地域住民のやる気次第で地域が活性化するという成功事例の一つを確認できた。

研修を終え、感じたことは、今後本町が直面するであろうさまざまな公共施設の維持管理費の膨大化は、財政を圧迫するであろうと誰もが想像できる。

我が町にとっても、公共施設の適正配置やあり方を進めるために何を残し、何を除去するのか喫緊の課題であり、地域活性化に繋がる戦略的かつ具体的な計画が必要であると思う。

### 八女市視察研修報告

#### 八女市との文化交流会(あかりの祭典)へ参加して



副議長 森 潤一郎

毎年行われている

八女市との交流事業

の一環として、9月

22日総勢17名で八

女市へ出向き視察研

修と文化交流を実

施した。

八女市は、合併により福岡県有数の大きな市となり、八女エリア、立花、黒木、矢部、星野、上陽の六つのエリアから成り立っている。みごとに棚田やきれいなお茶畑の残る豊かな自然と、九州最大の豪族筑紫君磐井氏の歴史を感じさせる八女市をたずねて味わい深い研修ができた。

また国指定重要無形民俗文化財「八女福島の燈籠人形」からくり人形公演を見ることができたことは幸いであった。昼食は、べんがら村にて八女市の副市長はじめ市議会議員、市職員の方々と意見交換を行った。

同じ古墳の町同志として今後お互いの交流を深めながら、つながりを強めていく必要を感じたものである。

### 厚生建設経済視察研修報告

## 林業の所得向上の取り組みと

## NHK大河ドラマに向けての先進地視察研修

厚生建設経済常任委員長 坂本 敏彦

厚生建設経済常任委員会では、8月7・8日に鹿児島県志布志市曾於地区森林組合と鹿児島市維新ふるさと館、西郷どん大河ドラマ館の視察研修を行った。

曾於地区森林組合においては、戦後植えられた人工林が伐採期を迎え、木材生産量が増加、国は木材自給率50%を掲げたが、現状は少子高齢化、住宅着工戸数の減少からどこに需要先を求め

るかが課題であり、選択肢の一つとして海外輸出に活路を見出した。

平成23年4月に相手国のニーズに対応するために、鹿児島、宮崎の森林組合による木材輸出戦略協議会を設立し、初めて県境を越えた森林組合が連携した取り組みを展開し、国内で需要の少ない大径材や低質材の輸出を志布志港からより利便性の高い東アジアへ開始された。

現在、輸出先は韓国、中国であり、韓国では家具の材料に使われていて、特にヒノキは、喘



志布志港にて出荷予定の木材

# 公州(コンジュ)市研修

総務文教常任副委員長 竹下 周二

平成30年9月19日～21日まで3日間の日程で、韓国公州市の研修に伺う。韓国公州市とは、古墳から出土した遺物が似ていることから、1979年に姉妹都市協定を締結し、文化交流を開催してきている。今回は、9月14日～22日までの間、開催されている「第64回 百済文化祭」に併せての訪問。町長、議長、他新人議員7名、職員4名の計13名が参加した。

9月19日(1日目)

福岡空港→韓国仁川  
↓公州市役所訪問↓  
市長主催夕食会

夕食会では、キム・ジョンソプ市長をはじめ、他7名の職員の方々と交流し、歓迎会が執り行われた。



公州市歓迎式

9月20日(2日目)

麻谷寺視察→宋山里古墳群、武寧王陵・博物館見学、公山城散策→議長主催夕食会→百済文化祭見学

百済はBC18年～AD660年まで続いた古代国家。多くの周辺国と交流を続け、独自の文化を築きあげた。

・百済文化祭は、百済大祭という名称で、百済末期の三忠臣を追悼する「三忠祭」と白馬江(ペンマガン)、錦江(クムガン)の川辺で百済の女性たちの魂を慰労する「水陸齋」を行ったことから始まった。韓国の代表的な歴史文化観光祭りとして知られており、昨年から公州市出身のジェジュンを広報大使に迎え、祭り期間の集客を150万人と見込み、開催されている。

・麻谷寺

百済時代に建てられた寺で新緑が美しいことが有名。

・宋山里古墳群

宋山里で発掘された百済25代王の墓。レンガを積み上げる中国墓制の影響を受けている。武寧王陵は百済の建築技術の水準を表す遺跡で、日本のコウヤマキで作られた王と王妃の棺から、百済が周辺の諸国と活発に交流したことが分かる。

・国立公州博物館

宋山里古墳群から発掘された武寧王陵の遺物他4万点余りの文化財を保管・展示している。博物館の入り口には武寧王の胸像があり、展示室に内部と木棺を復元してある。

・公山城

百済時代の代表的な城郭。熊津百済を支えた王城。

この日の夕食会は、パク・ビヨンス議長をはじめ、他11名の議員の方々と交流を深めることができた。  
※大半の出席者は、初の研修であり、

熱烈な歓迎をいただき感謝している。私どもの古墳、歴史と共通している部分が多く、特に親しみを感じた。

9月21日(3日目)

仁川空港→福岡空港→和水平



日本の和水平代表団の訪問を歓迎します



日本和水平訪問団 歓迎式

## 高齢者対策が急務



白木 淳 議員

**問** 6月定例会で7項目の取り組みを挙げられたが、任期中に必ず実現させたいのは何か。

**答** (町長) 子育て支援、教育の充実、定住化に向けた整備、福祉の充実、産業振興と歴史と文化が色づく豊かなまちづくり、災害に強いまちづくり、町民の皆さんとともに歩むまちづくりに向けて、一つ一つ着実に前に進めていく。

**問** 停滞した4年間とよく耳にしたが反省点などあるか。  
**答** (町長) 学校統合事業において、政策の相違の点から事業が停滞したのは事実。双方議論を重ねて合意点を見出す努力が必要であったと考える。このことを心に刻んで前に一歩一歩進めていきたい。

**問** 高齢ドライバーの事故が問題になっているが対策は考えているか。

**答** (総務課長) 年2回の交通安全週間に合わせて、町内13カ所で行頭指導を実施。また老人会からの要請に対して交通安全の講習等を行っている。年1回の高齢者の集いの時に玉名警察署から講話に来ていただき、交通安全の推進、免許証の自主返納制度の仕組み等々について講話をいただいている。

**問** 低所得の高齢者がシニアカーを購入できるように町で助成できないか。

**答** (町長) 事例等の情報を寄せて担当課で検討したい。



荒木 宏太 議員

## 和水平副町長の選任と町の経済、雇用状況そして金栗先生の遺志

**問** 今後の和水平町にとって、副町長のあり方や立場、役目、職務を具体的に伺う。

**答** (町長) 副町長をおくことにより、町や中央に出向き、要望等に全力を傾けていく。副町長には内部、庁内の掌握、また色々な角度から職員一体となって企画立案、リーダーシップを発揮して職員の指導にもあたっていただく。

**問** 町長の7つの公約内に和水平の雇用創出についての施策が見えない。町は雇用創出を諦めて、雇用は他の町や市へ依存する考えなのか。

**答** (町長) 仕事は町外でして、生活は和水平町というパターンも必要。しかし、できることならば町内で仕事をして町内に住んでいただくことが町の発展につながっていくと思う。

**問** 現代の田舎に住む若い世代は大変苦しい状況。人口減少に伴い、

結婚、子育てそして年金制度等、将来の不安が募ることは確かである。町内に定住の希望があっても、現状では叶わない人もいると聞いているが。

**答** (町長) 住宅がない、なかなか住める場所がない確かにそうかもしれない。雇用の場も厳しい、しかしその為には町で宅地を造成して、私は地の利は和水平町にはあると思う。

**問** 金栗さんの生きざま、思いを今後とも我が町民の子どもたちに教育として伝えてほしい。和水平の教育の中で金栗マラソンへの参加はできないか。

**答** (教育長) 以前に学校行事として参加していたが中止した経緯があり、それ以降、学校行事はないとのスタンスで教育委員会はやっていない。学校行事はあくまで学校長に決定権があるので、それを基に進めていく。



秋丸 要一 議員

### 町民の将来を見据えた 施策を

**問** 慢性化した赤字体質の町立病院の経営改善は急務であるが、町長自身が将来を見据えた具体的な経営指針を示す時と考えるが、どのような施策をもって推進されるのか。

**答** (町長) この4年間で高齢者の医療、福祉施設の整備と充実を図りたい。今後どう維持していくか、その方向性を示していくことが私に課せられた使命と思う。

**問** いつまで指針を示すのが重要で、まず町長として自ら思い描く方向性と具体的に明確な目標を掲げるべきだ。やり遂げる時期を明言し、取りかからないと先送りになる。経営不振の状態をいつまで続けていくのか。

**答** (町長) 4年の中でやれるかどうか、厳しいが全力で取り組む。いつまでと言えない状況ではないのでご理解を。

**問** 江田四つ角の県道交差点周辺の街路灯は老朽化に伴い安全が確

保できない理由で、すべてを撤去し街路灯維持組合も解散するとの決定について町長の認識と、今後どのような対策を講じていくのか。

**答** (町長) 撤去となれば防犯、景観、夜の安全面で支障があると思われる。9月6日に3行政区の区長と商工会より町有街路灯新設の要望書が提出されている。

**問** 街路灯の建替は行政区レベルで対応できる問題ではなく、町の中心地としての概念をもってまちづくりの観点からも観光事業の一環としても取り組むべき施策だと思ふ。要望書の内容も防犯を兼ねた今と同レベルの物を町有街路灯としてこれからは町での設置、運営を望んでおられるがその回答は。

**答** (町長) 今、町内で整備している防犯灯の設置が基本となるが、特別な対応には条例も必要だし今の段階ではNOだ。ただ、要望書のとおりなら新たな検討が必要だ。要望書を重く受け止め対応する。



高木洋一郎 議員

### ランナーの聖地にふさわしく 金栗四三翁の生家に 黎明の鐘と銅像の設置を

**問** 地域公共交通「あいのりくん」の充実について。

**答** (まちづくり推進課長) 2つの点で充実を図った。第1点目は、運行時間を拡大した。午前8時30分から午後5時までの運行とした。第2点目は、乗降拠点を10カ所追加した。金融機関、医療機関、商店を追加した。いずれも10月1日から実施する。

**問** 金栗ミュージアムと生家記念館の棲み分けは、どの様に考えているか。

**答** (町長) ミュージアムは、オリンピックまでの道程、その後のスポーツ振興への功績と箱根駅伝などの顕彰展示を行い、金栗翁の功績を時間軸に沿って展示する。ま

た生家記念館は、幼少期に特化した展示を行う。

**問** 金栗翁の生家にマラソンの聖地として「黎明の鐘」と「金栗翁の銅像」の設置を提案する。どう考えるか。

**答** (町長) 金栗翁を慕って、本町を訪れるランナーが増えると思う。議員の提案は検討に値すると思う。

**問** 西光寺中林線の工事完了の時期と通行止め区間の復旧時期は。

**答** (建設課長) 事業完了予定は、平成32年度後半の見込みである。通行止区間は、10月までを目途に片側交互通行ができるように工事を進めている。



森 潤一郎 議員

### まちづくり推進対策の 行政区の再編問題について

**問** 町と区長会が取り組んでいる行政区の再編について進展状況は。

**答** (町長) 平成29年9月に区長に依頼した地区の状況についてのアンケート調査の結果を尊重し、すべての区を一齐に再編するのではなく、行政区の運営に困っているところから段階的に進めていきたいと考える。

**問** 人口減少と高齢化がさらに進んでいくなかで和水平町の生き残る方策としてセーフティネット構築(案)が必要と思うが、セーフティネットワークの具体的な委員会設置はどう考えているか。

**答** (町長) セーフティネット構築が重要な課題であることは認識している。

**答** (総務課長) 委員会設置はまだできていないが、機会あること

に区長会においても周知説明を図っている。また、10月の区長会研修においても視察等を計画している。

**問** 住民の生活インフラが変化していくなかで、行政としての対応はどう考えるか。

**答** (町長) 本町のまちづくりの方向性としては本町が担うべきことを明らかにし、住民と行政の共同のまちづくりを推進することが不可欠と考えている。

**問** 幼児英語教育の導入実践についてどう考えるか。

**答** (町長) 時代の流れを考えるとグローバル化を見据えた語学力はもろろんのこと、人間関係や表現を身につけてコミュニケーション豊かな子どもたちが育って行くことは非常に大事なことである。



池田龍之介 議員

### 町、議会、地元と一丸となり、 早期実現に向け 運動を展開と明言!!

**問** 主要地方道と一般県道の違いは、何が一番違うかご存知か。

**答** (町長) 道路の幅、その地域における重要性、基幹的な差ではあるが、それも要件の中に含まれるが、県道は、市又は5000人以上の町村を結ぶ道路、主要地方道と一般県道の一番の違いは、主要地方道は国土交通大臣が指定、町長は、選挙公約に県道の整備を載せているが、出来ないことを公約に挙げ

るのは、貼り付け膏薬と一緒に、公約は出来ることを挙げるのが公約だ。県道と和水平水線、合併により県道指定の要件を満たしていない。以前この場で申し上げたが用木から高野まで、それから荒尾から来ている高規格農道に直結し、将来に亘つての管理維持費等で、今、道路改修中の江田高野線を、和水平水線に変更してはと提案し

たが、町長としてどう思われるか。

**答** (町長) しっかりと対応すべきと思ふ把握し、しっかりと対応すべきと思ふ。立花矢部谷トンネル早期実現に向けた啓発看板が立てて数年経過しているが、どの様な考えのもと推進されるのか。

**答** (町長) この路線は非常に大事な路線。地元の皆さん方の熱意も必要。まず、地元の区長さん方を中心に、しっかりと体制を整えていただき、町、議会、地元の方々一丸となり、運動を展開していく。

**問** 啓発看板を立て数年経っている。地元の熱意も必要だから、期成会を作ってくださいと、町からお願すべきではないか。

**答** (町長) いま言われたことは非常に大事なことで、地元区長さんもしっかりと働きかけ、議会とともにしっかりと対応して参りたい。



齊木 幸男議員

### 空家対策・定住化に向けた対策 特老きくすい荘の運営・施設整備 菊水地区小学校統廃合後の跡地は

**問** 倒壊寸前の特定空家等に対する対策の進展状況は。

**答** (税務住民課長) 12月議会に空家対策条例案を上程予定。

**問** 町有地の現状と利活用、定住化促進策の進展状況は。

**答** (町長) 人口減少の対応として最優先課題。遊休化している町有地を、早急に調査整理するように指示をしている。

**問** 特老きくすい荘、デイサービスセンターの運営・経営・施設整備の方向性は。

**答** (町長) 町には無くてはならない福祉施設。築46年、耐震化を図る必要がある。介護保険への影響等も検討し方向性を決めていきたい。

**問** きくすい荘は町民の命をお預かりしている。地震による倒壊の恐れは。

**答** (施設長) 平成27年に耐震診断を行った。壁に亀裂が生じているが、直ちに壊れることはないものの、熊本地震を受けて、耐震性能は低下している。

**問** 菊水地区小学校統廃合後、南小学校をはじめとする小学校跡地の利活用は。

**答** (町長) この秋に学校跡地等検討委員会を立ち上げる。地域住民の皆様の意見を吸い上げていくことが基本。

**問** 金栗四三ミュージアムの町民観覧に対する方策は。

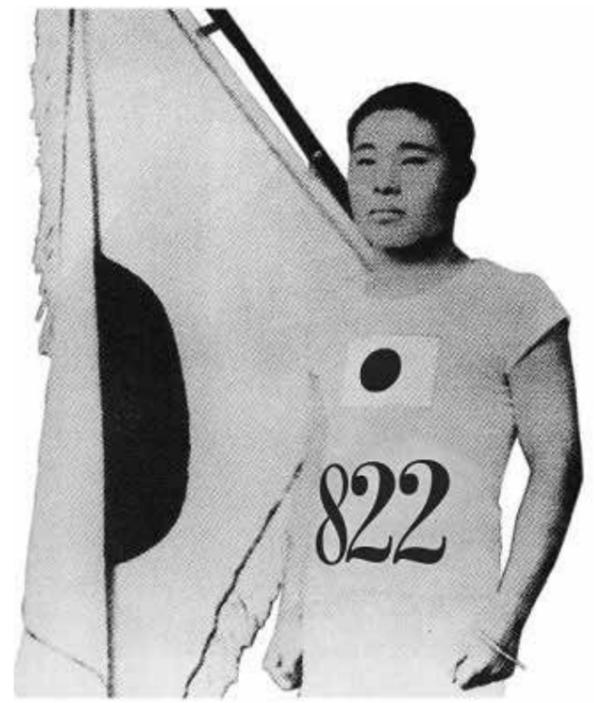
**答** (町長) 目標入場者数12万人をクリアできるように全力を挙げて取り組む。  
**答** (商工観光課長) ミュージアムは町民に限りオープン前の事前観覧を検討中。

## 走り続けた92年！

### 日本マラソンの父『金栗四三』

#### 「黎明の鐘 II」

金栗四三翁は、第5回ストックホルム五輪(1912年)のマラソン競技に参加します。マラソン競技は7月14日で、北欧の空は青く、強烈な光と



のでしよう。

マラソン出走者68人のうち、ゴールに辿り着いたのは半数の34人。過酷な条件のレースだったことが伺えます。

ペトレ家の人々は金栗翁を介抱して意識を取り戻した後、宿舎まで送り届けたそうです。後日、金栗翁はペトレ家にお礼に訪れ、帰国後も葉書や手紙を送っていたそうです。

翌日の金栗翁の日記には「大敗後の朝を迎ふ。終生の遺憾のことで心うずく。余の一生の最大の記念すべき日になりしに。しかれども失敗は成功の基にして、また他日その恥をすすぐ時あるべく。雨降って地固まる日を待つのみ。これ日本人の体力の不足を示し、技の未熟を示すものなり。この重責を全うすること能わ

監督 白木 淳

## 玉名郡球技大会優勝

8月31日に玉名郡町村議会議員研修会が玉東町中央公民館で行われました。講師に全国町村議会議長会総務部長の三宅達也氏を迎え、最近の地方議会をめぐる動向や町村議会の抱える課題について講演いただきました。大変わかりやすく、参加した議員全員が真剣な面持ちで拝聴させていただきました。

午後からは玉名郡四町による球技大会(ビーチボールバレー)が行われ、私はBチームの監督として参加しました。私たちのBチームは年齢が若い方から選抜していたこともあり、ストレートでコート優勝することができました。その後、優勝候補の玉東町Aチームとの優勝決定戦。1勝1敗の最終セット、7対2で負けていた時、事務局長がタイムを要求し、選手みんなを勇気づけました。そこから流れが変わり相手チームのミスが連発し、5点差をひっくり返して勝利しました。それはもう世界バレーのような盛り上がりで楽しませていただきました。次回も優勝できるように頑張りたいと思います。



優勝旗を囲む選手たち

ざりしは、死してなお足らざれども、死は易く、生は難く、その恥をすすぐために、粉骨砕身してマラソンの技を磨き、もって皇国の威をあげむ。」と記されています。

4年度の第6回ベルリン大会は第一次世界大戦で中止となり、絶頂期の金栗翁は、涙をのみます。その後、第7回アントワープ大会、第8回パリ大会に参加するものの絶頂期を過ぎた金栗翁は好成績を上げることはできませんでした。しかし、五輪参加の折に欧州のスポーツ事情を見聞して、日本のスポーツ振興のための多くの教訓を持ち帰ったこと

でしょう。  
金栗翁はマラソンの振興とともに、女子体育の振興の必要性を痛感し、女学校での体育を奨励する活動を続けていきます。  
マラソンの振興策として金栗翁は、長距離選手の数を増やすために「駅伝」を考案しています。1917年には京都から東京までの23区間を日

本初の駅伝となる「東海道五十三次駅伝競走」を行っていきます。また、長距離走の魅力を国民に知らしめるために、1919年に下関から東京間1200kmを秋葉祐之と二人で20日間で走破しています。そして、翌年の1920年には「東京箱根間往復大学駅伝競走」を企画しています。今では、多くの国民が観戦する正月の風物詩となっています。  
この箱根駅伝を目指して和